

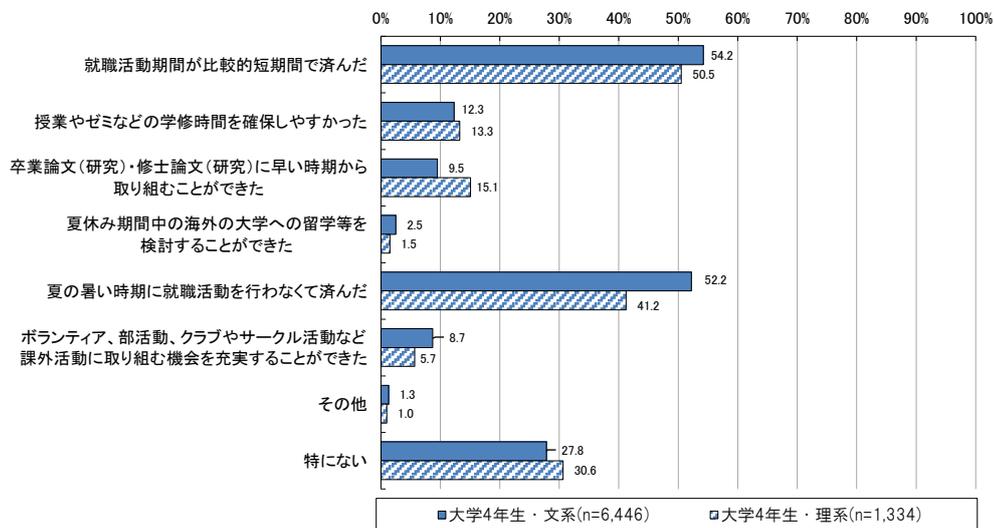
第5章 文系・理系別の集計

①文系・理系別⁴³、就職活動時期変更のよい影響に関する認識

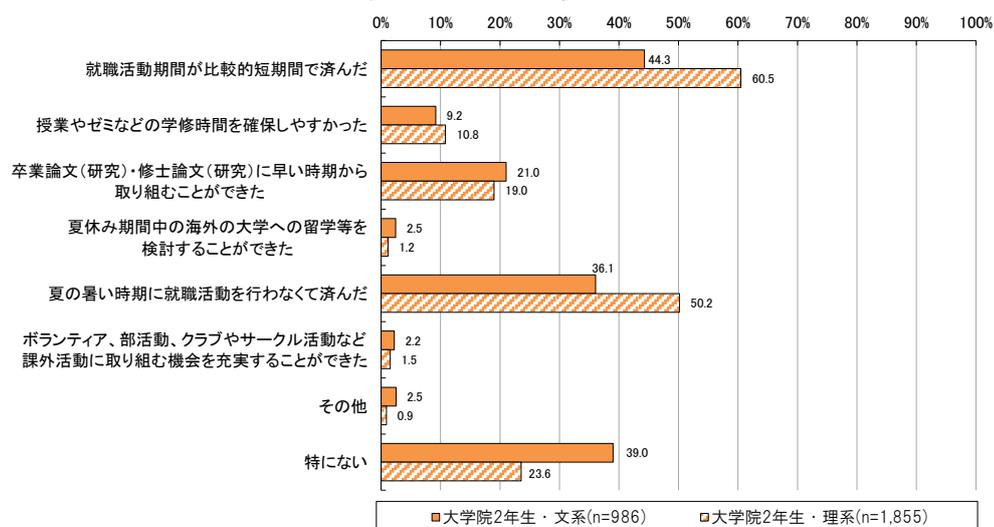
文系・理系別に、就職・採用活動の時期が変更になったことにより、よい影響があったと思うことについてみると、大学4年生では文系の学生のほうが「就職活動期間が比較的短期間で済んだ」「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」の割合が比較的高い（図表5-1-1）。

他方、大学院2年生に関しては、理系の学生のほうが「就職活動期間が比較的短期間で済んだ」「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」の割合が比較的高くなっている（図表5-1-2）

図表5-1-1 大学4年生の文系・理系別、就職活動時期変更についてよい影響があったと思うこと
(最大3つまで選択)



図表5-1-2 大学院2年生の文系・理系別、就職活動時期変更についてよい影響があったと思うこと
(最大3つまで選択)



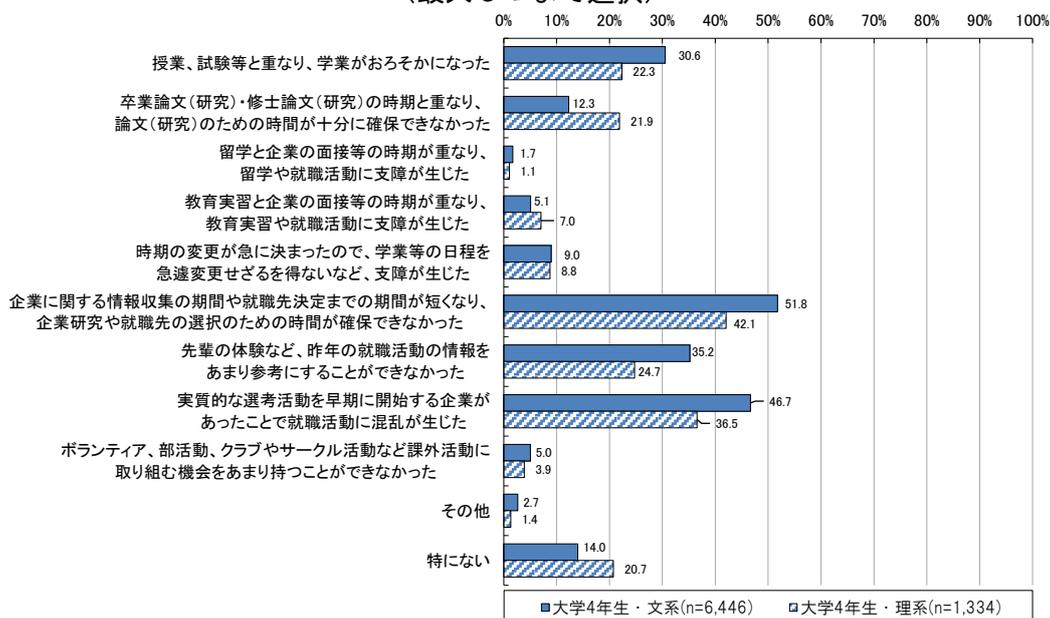
⁴³ 専攻に関して、「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている。

②文系・理系別、就職活動時期変更に関する課題等に関する認識

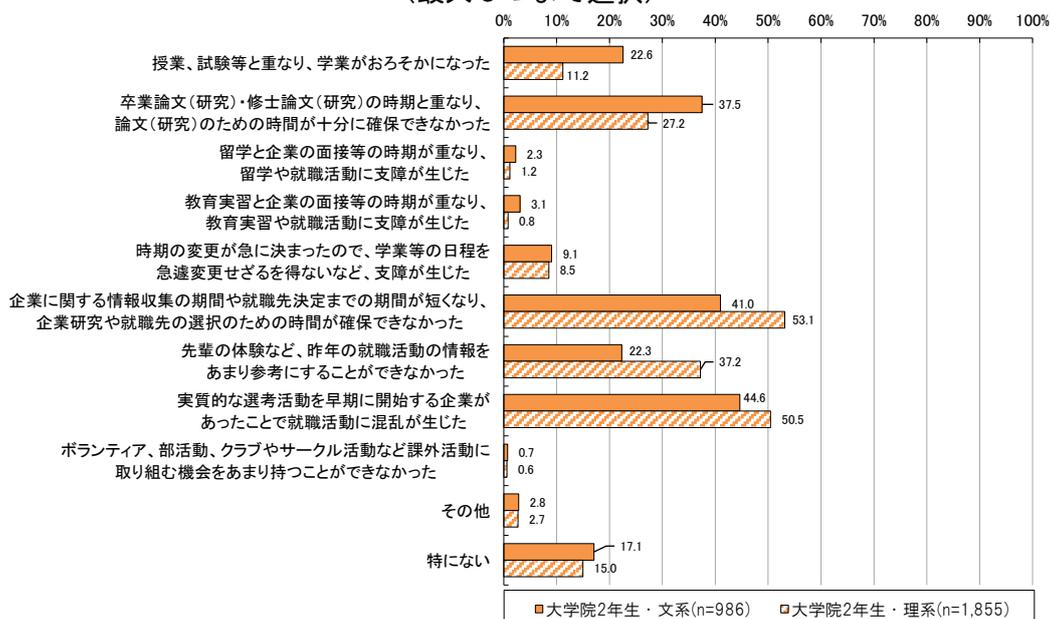
文系・理系別に、就職・採用活動の時期が変更になったことで課題になったことについてみると、大学4年生では、「企業に関する情報収集の期間や就職先決定までの期間が短くなり、企業研究や就職先の選択のための時間が確保できなかった」「実質的な選考活動を早期に開始する企業があったことで就職活動に混乱が生じた」「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報をあまり参考にすることができなかった」のそれぞれで文系の学生のほうが回答割合が高くなっている（図表5-2-1）。

他方、大学院2年生では、上記の3点について理系の学生のほうが割合が高くなっている（図表5-2-2）。

図表 5-2-1 大学4年生の文系・理系別、就職活動時期変更について課題になったと思うこと
(最大3つまで選択)



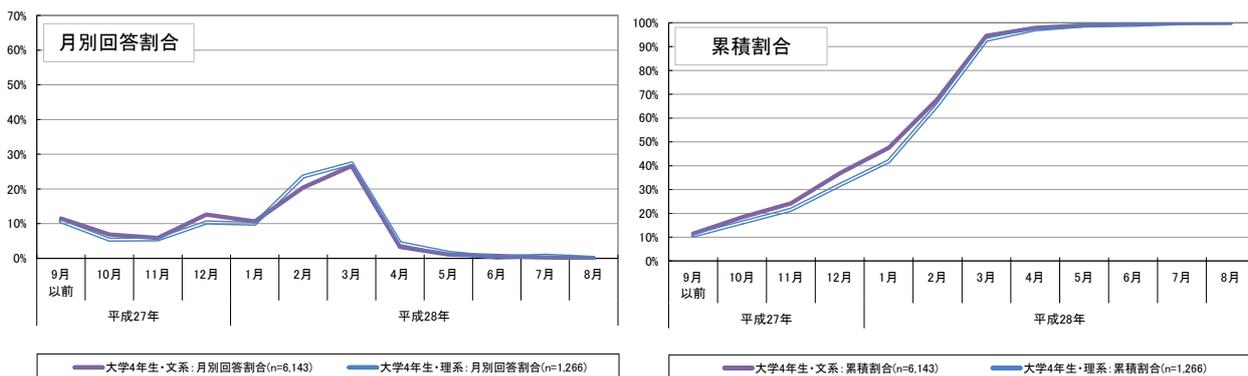
図表 5-2-2 大学院2年生の文系・理系別、就職活動時期変更について課題になったと思うこと
(最大3つまで選択)



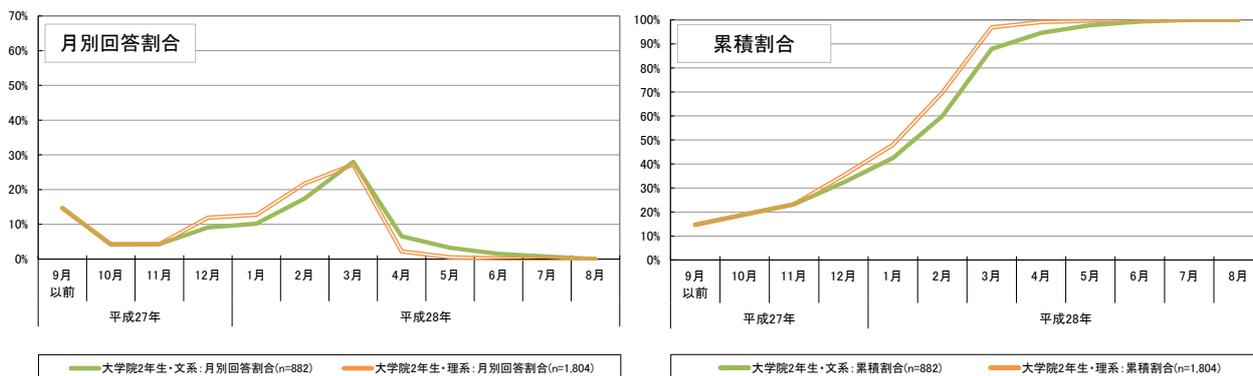
③文系・理系別、業界や企業に関する分析を開始した時期

文系・理系別に、いつごろから業界や企業に関する分析を開始したかをみると、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年3月」との回答割合が高いという点は共通しているが、累積割合を見ると、大学4年生では文系の学生のほうが、大学院2年生では理系の学生のほうが、それぞれ業界や企業に関する分析を開始した時期が比較的早かった者の割合が高くなっている⁴⁴（図表5-3-1、図表5-3-2）。

図表 5-3-1 大学4年生の文系・理系別、業界や企業に関する分析を開始した時期



図表 5-3-2 大学院2年生の文系・理系別、業界や企業に関する分析を開始した時期



⁴⁴ 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は、ここでは集計の対象外とした。

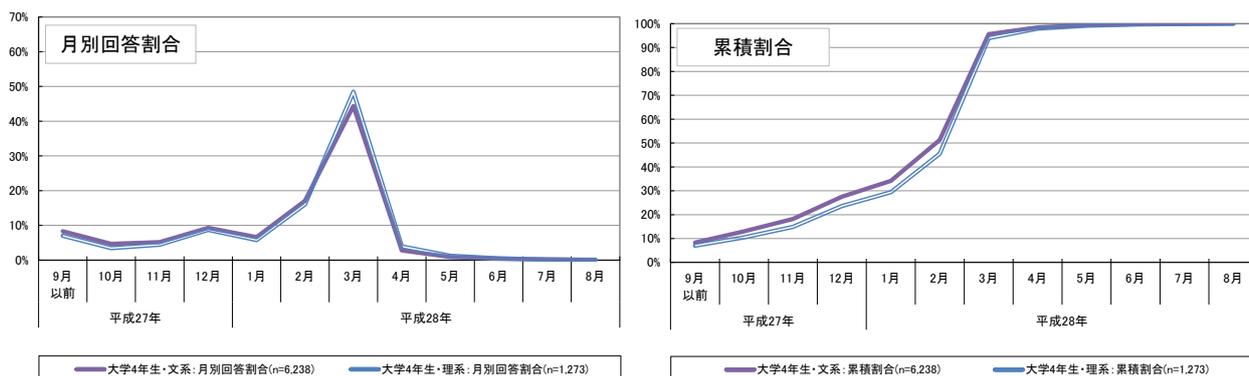
④文系・理系別、企業説明会やセミナー等の参加状況

企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」「参加のピーク」「最後に参加した時期」をそれぞれ文系・理系別に集計した⁴⁵（図表 5-4-1、図表 5-4-2）。

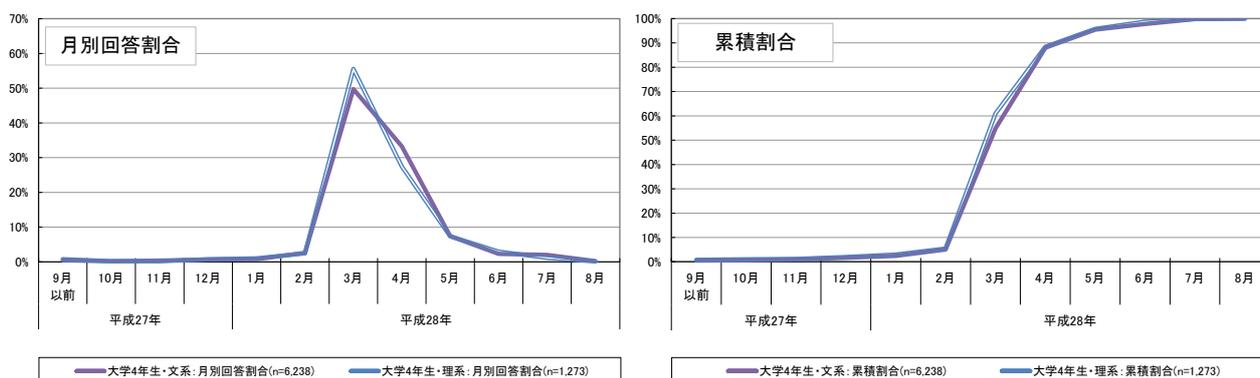
大学 4 年生では、「最初に参加した時期」について、文系の学生のほうが時期が早い者の割合が若干高くなっている。他方で、「最後に参加した時期」については、文系の学生で回答割合が最も高いのが「平成 28 年 5 月」であるのに対して、理系の学生では「平成 28 年 4 月」となっており、理系の学生のほうがより早く企業説明会やセミナー等への参加を終えている状況にある。なお、大学 4 年生に関し、企業説明会やセミナーの参加数の平均値は、文系の学生で 31.1 社、理系の学生では 21.8 社であった。

大学院 2 年生では、「最初に参加した時期」「参加のピーク」「最後に参加した時期」のいずれについても、理系の学生のほうがより早い時期を回答する者の割合が高くなっている。なお、大学院 2 年生に関し、企業説明会やセミナーの参加数の平均値は、文系の学生で 22.1 社、理系の学生では 19.6 社であった。

図表 5-4-1 大学 4 年生の文系・理系別、企業説明会やセミナー等の参加時期
 <最初に参加した時期>

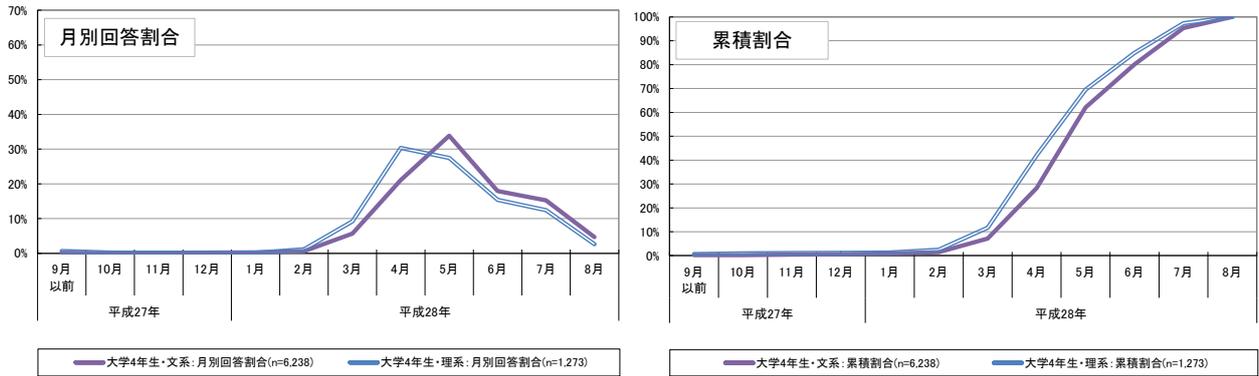


<参加のピーク>

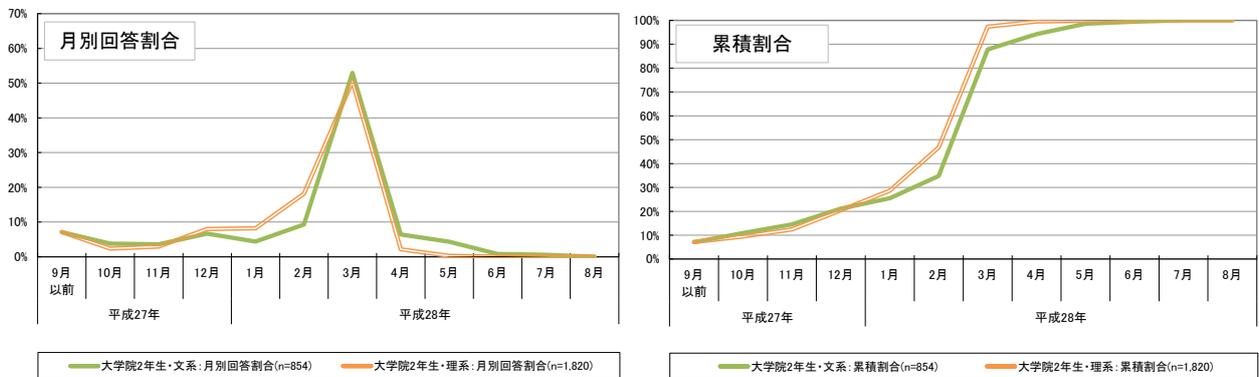


⁴⁵ 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、ここでは集計の対象外とした。

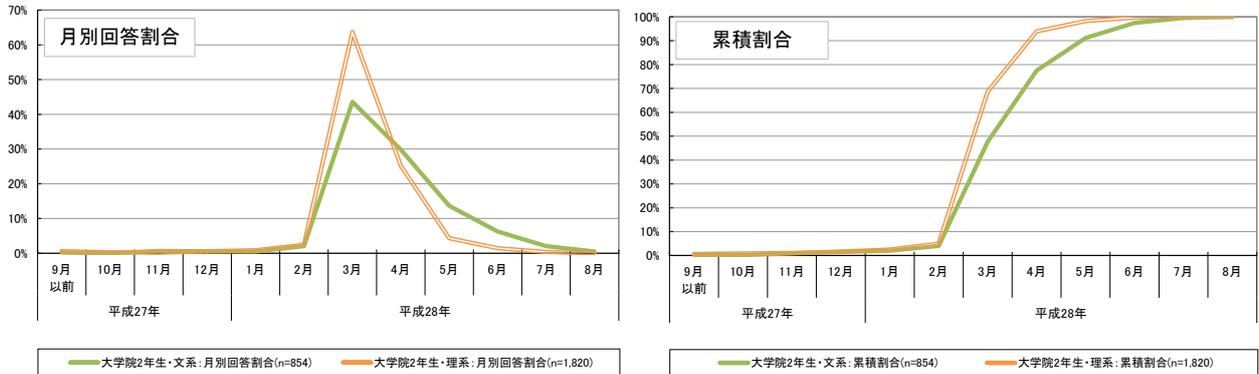
図表 5-4-1 大学4年生の文系・理系別、企業説明会やセミナー等の参加時期
 <最後に参加した時期>



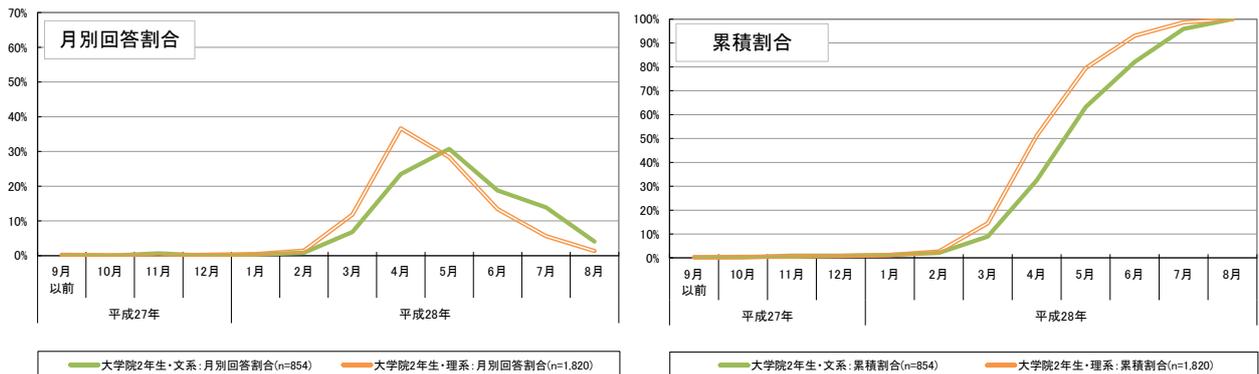
図表 5-4-2 大学院2年生の文系・理系別、企業説明会やセミナー等の参加時期
 <最初に参加した時期>



<参加のピーク>



<最後に参加した時期>



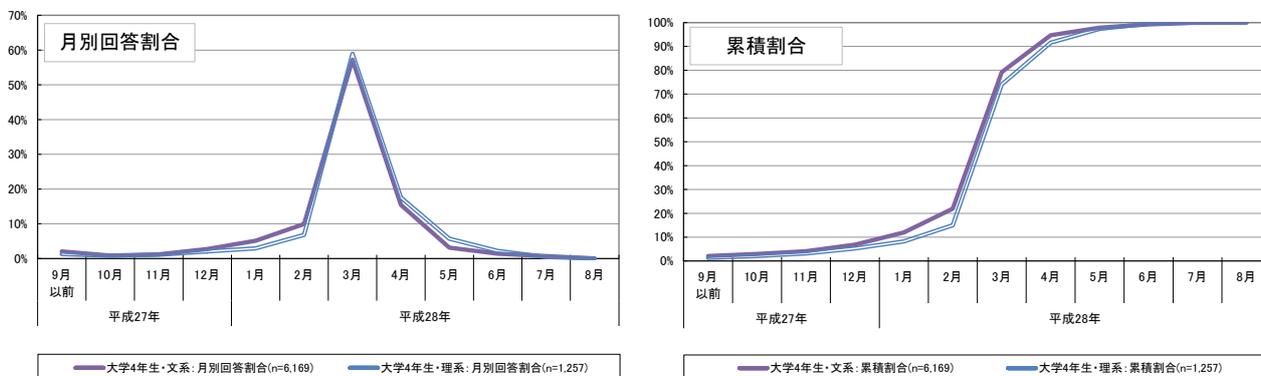
⑤文系・理系別、エントリーシートの提出状況

エントリーシートの提出時期について、「最初に提出した時期」「提出のピーク」「最後に提出した時期」をそれぞれ文系・理系別に集計した（図表 5-5-1、図表 5-5-2）。

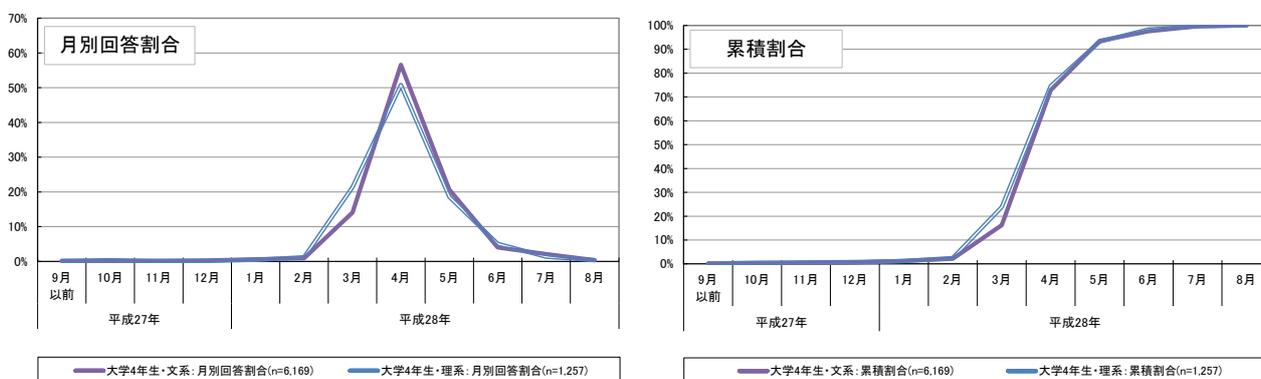
大学 4 年生では、「最後に提出した時期」について、理系の学生のほうがより早い時期を回答した者の割合が高くなっている。なお、大学 4 年生に関し、エントリーシート提出数の平均値は、文系の学生は 18.6 社、理系の学生では 12.4 社であった。

また、大学院 2 年生では、「提出のピーク」「最後に提出した時期」について、理系の学生のほうがより早い時期を回答した者の割合が高くなっている。大学院 2 年生のエントリーシート提出数の平均値は、文系の学生で 17.1 社、理系の学生では 12.3 社であった。

図表 5-5-1 大学 4 年生の文系・理系別、エントリーシートの提出時期
 <最初に提出した時期>



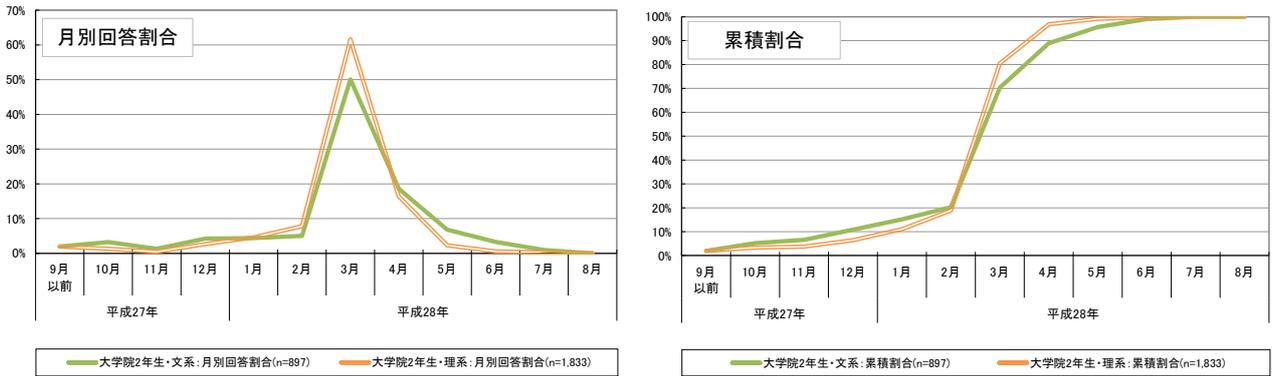
<提出のピーク>



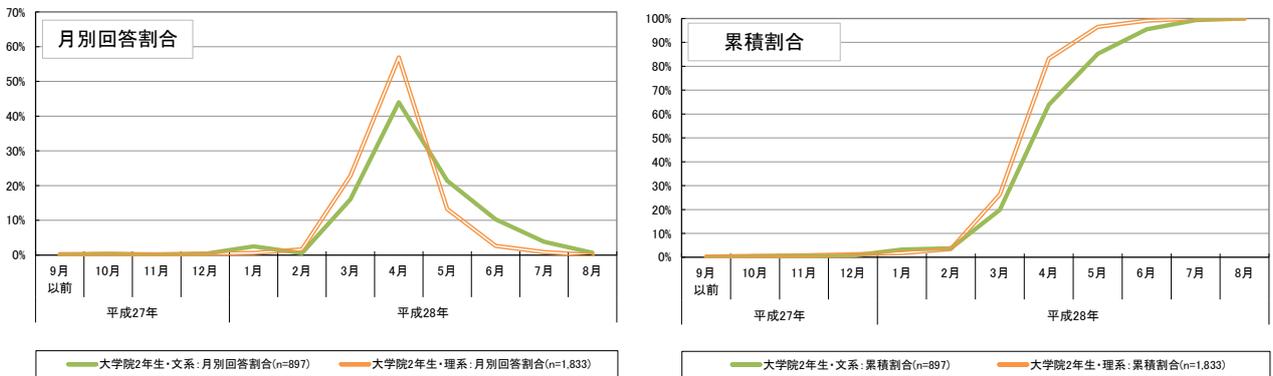
<最後に提出した時期>



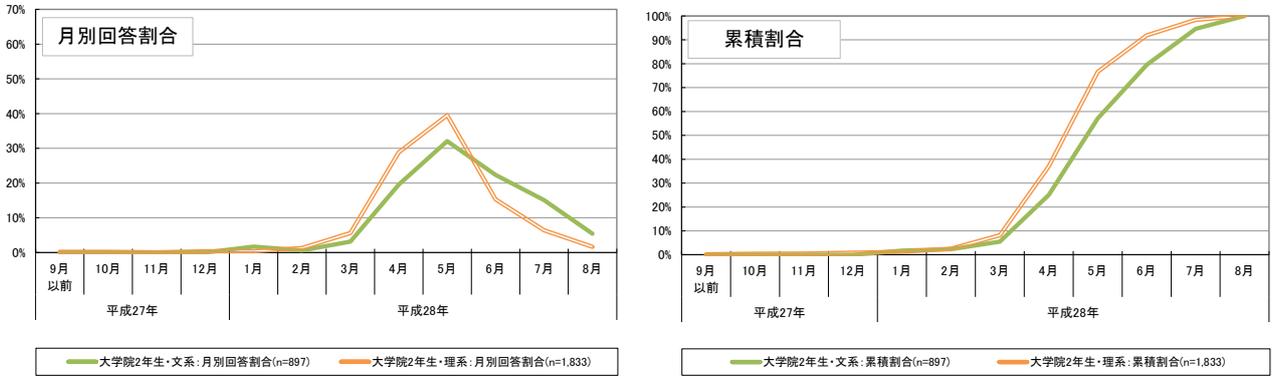
図表 5-5-2 大学院2年生の文系・理系別、エントリーシートの提出時期
 <最初に提出した時期>



<提出のピーク>



<最後に提出した時期>



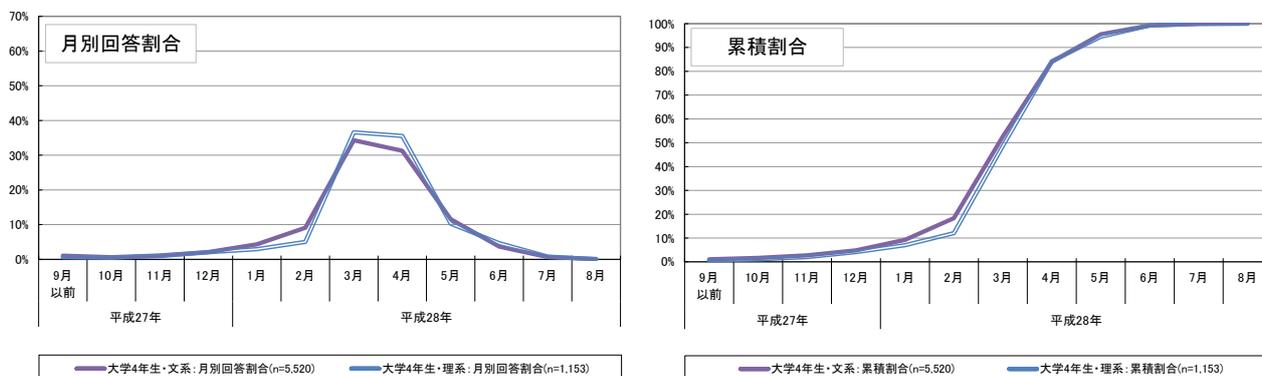
⑥文系・理系別、採用面接の実施状況

採用面接⁴⁶の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」をそれぞれ文系・理系別に集計した⁴⁷（図表5-6-1、図表5-6-2）。

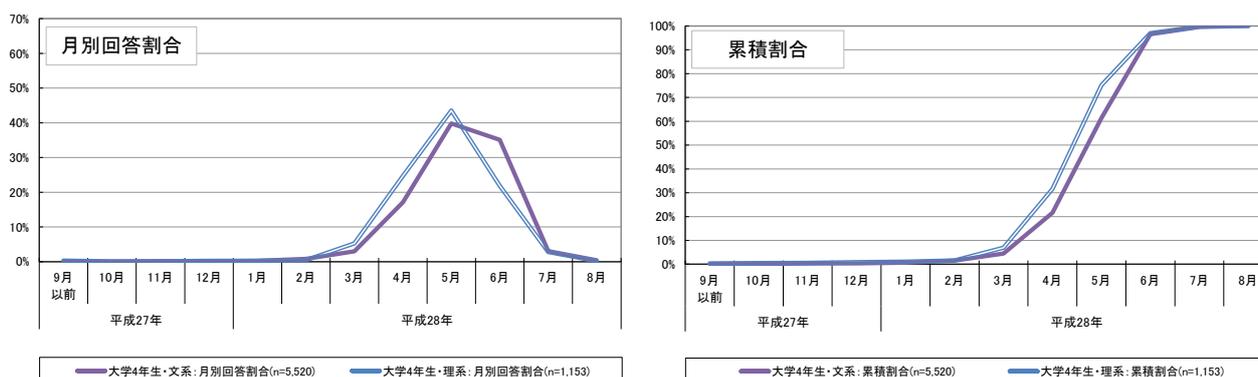
大学4年生では、特に「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」について、理系の学生のほうが文系の学生に比べ、より早い時期を回答した者の割合が高くなっている。なお、大学4年生に関し、採用面接を受けた企業数の平均値は、文系の学生で12.0社、理系の学生では8.4社であった。

大学院2年生では、「最初に受けた採用面接の時期」「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」のいずれについても、理系の学生のほうがより早い時期を回答した者の割合が高い傾向にある。大学院2年生に関し、採用面接を受けた企業数の平均値は、文系の学生で9.2社、理系の学生では7.4社であった。

図表5-6-1 大学4年生の文系・理系別、採用面接の実施時期（公務員・教職員志望者除く）
 <最初に受けた採用面接の時期>



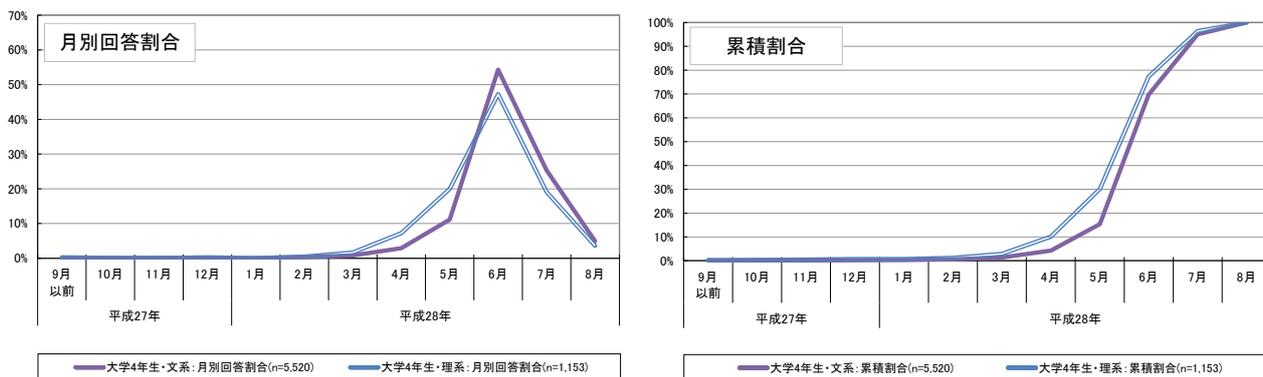
<採用面接のピーク>



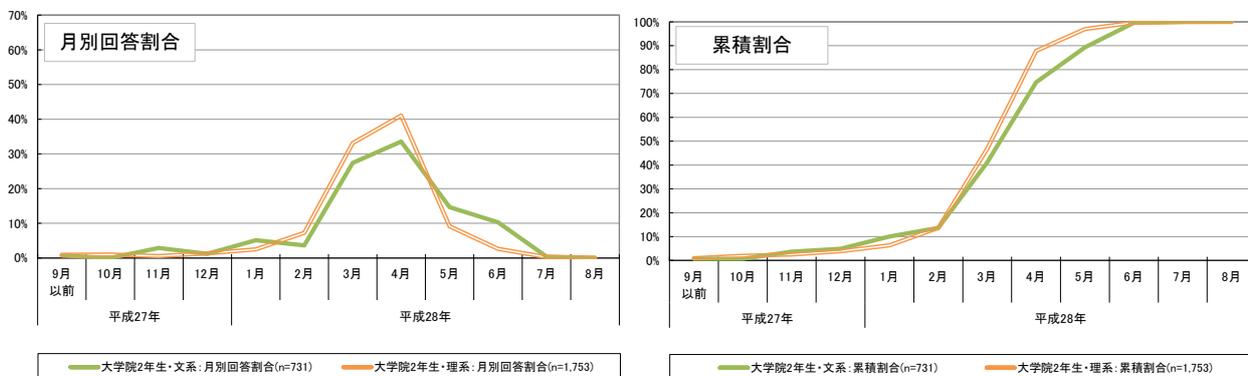
⁴⁶ 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

⁴⁷ 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点（8月1日時点）において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

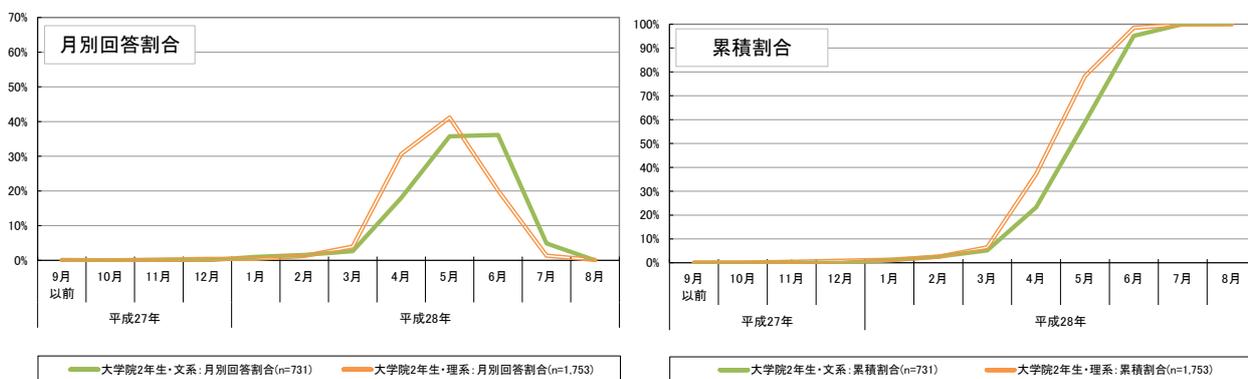
図表 5-6-1 大学4年生の文系・理系別、採用面接の実施時期（公務員・教職員志望者除く）
 <最後に受けた採用面接の時期>



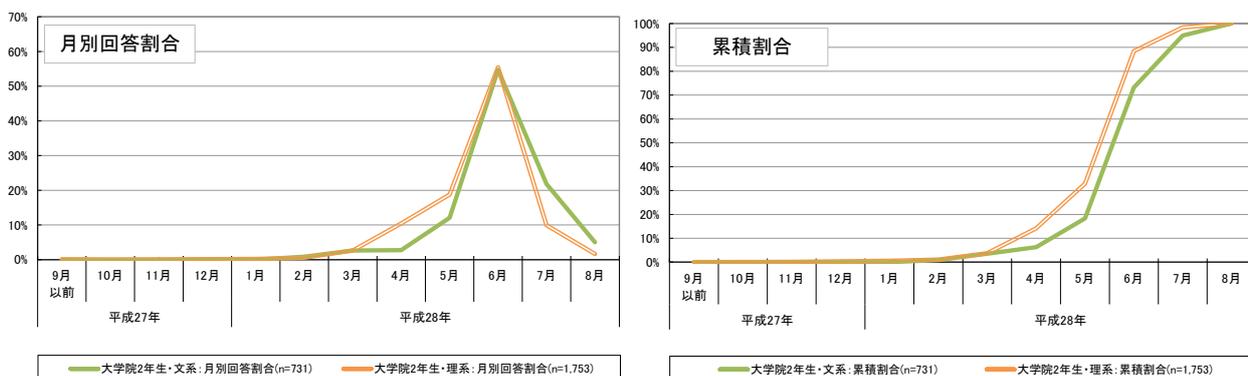
図表 5-6-2 大学院2年生の文系・理系別、採用面接の実施時期（公務員・教職員志望者除く）
 <最初に受けた採用面接の時期>



<採用面接のピーク>



<最後に受けた採用面接の時期>

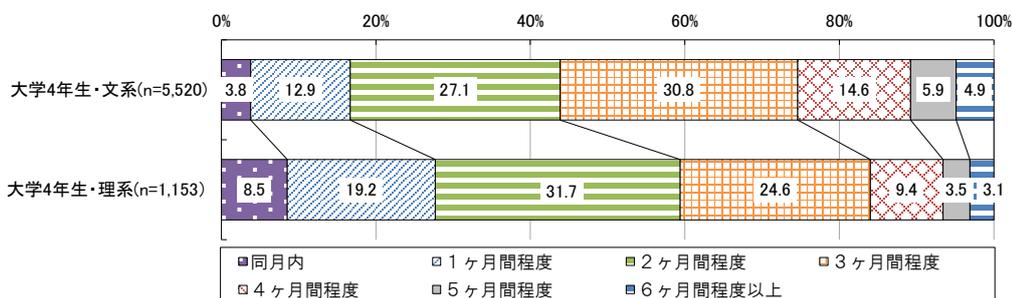


⑦文系・理系別、最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間

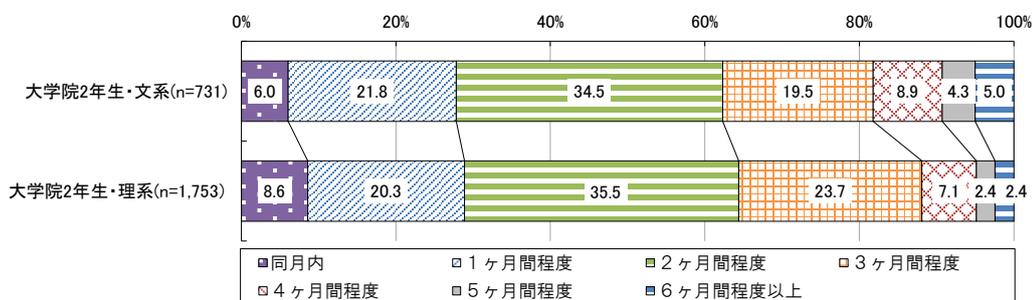
文系・理系別に、「最初に受けた採用面接の時期」⁴⁸から「最後に受けた採用面接の時期」の間の期間について集計すると⁴⁹⁵⁰、大学4年生では文系の学生よりも理系の学生のほうが期間が短い者の割合が高い傾向にある（図表5-7-1）。大学院2年生でも、理系の学生のほうが期間が短い者の割合が若干高くなっている（図表5-7-2）。

なお、大学4年生と大学院2年生との間でも比較すると、「大学4年生・文系」において、「3ヶ月間以上」や「4ヶ月間以上」の割合が高く、比較的面接の期間が長い傾向にあることがうかがえる。

図表 5-7-1 大学4年生の文系・理系別、最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間（公務員・教職員志望者除く）



図表 5-7-2 大学院2年生の文系・理系別、最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間（公務員・教職員志望者除く）



⁴⁸ 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で得られた回答である。

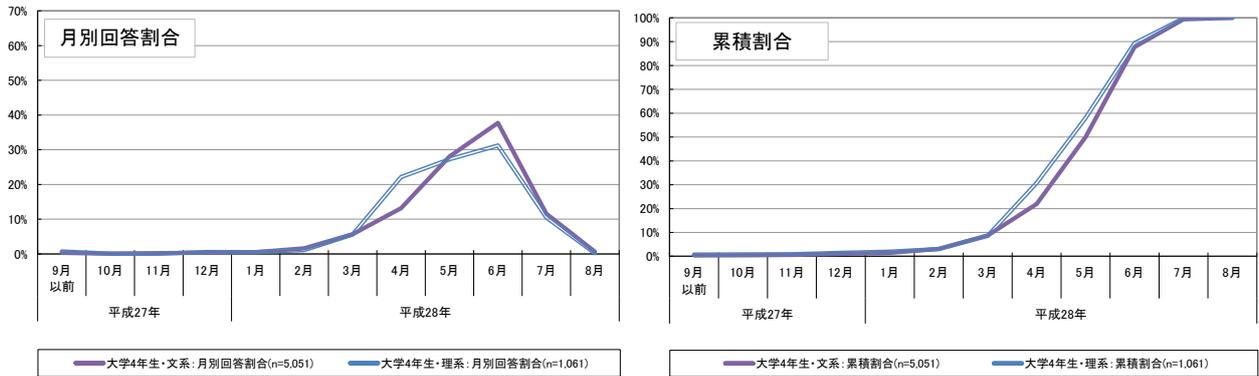
⁴⁹ 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点（8月1日時点）において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

⁵⁰ ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「最初に受けた採用面接の時期」が3月、「最後に受けた採用面接の時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも採用面接を受けていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

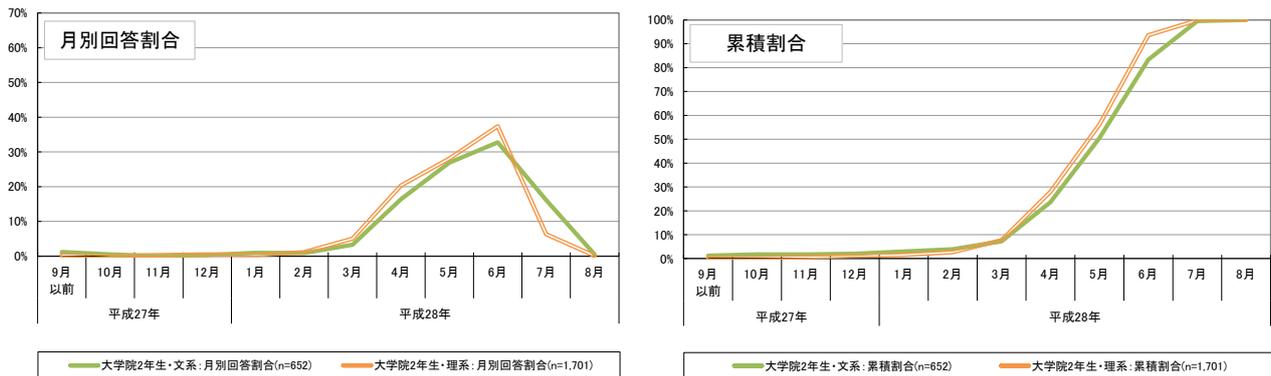
⑧文系・理系別、内々定を受けた時期

文系・理系別に、内々定を受けた時期についてみると⁵¹、大学4年生・大学院2年生ともに、文系の学生よりも理系の学生のほうが、より早い時期に内々定を受けたと回答している者の割合が高くなっている（図表5-8-1、図表5-8-2）。

図表 5-8-1 大学4年生の文系・理系別、内々定を受けた時期（公務員・教職員志望者除く）



図表 5-8-2 大学院2年生の文系・理系別、内々定を受けた時期（公務員・教職員志望者除く）

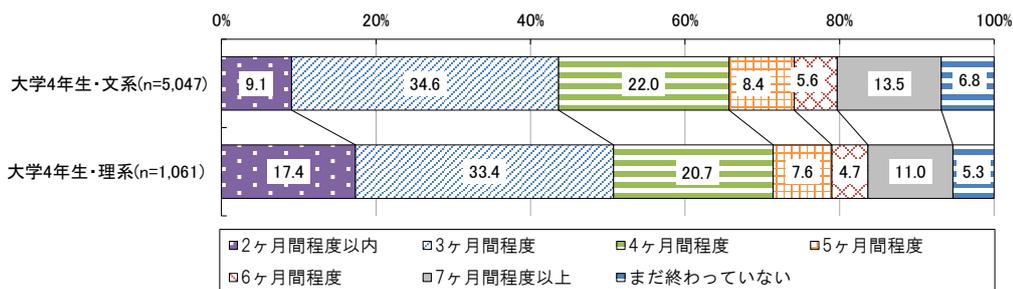


⁵¹ 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

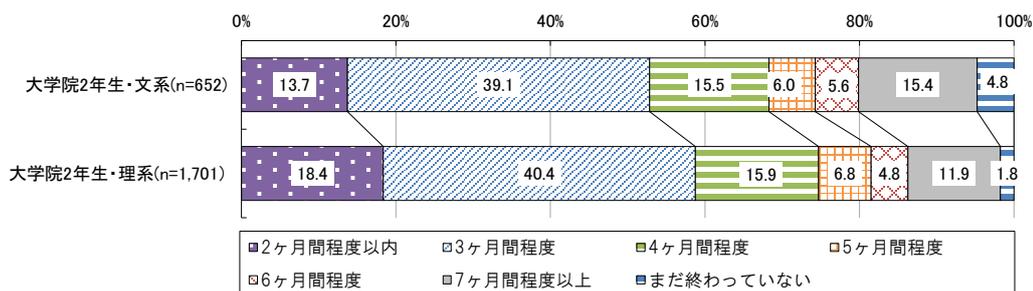
⑨文系・理系別、就職活動の始まりから終わりまでの期間

「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について文系・理系別に集計すると⁵²、大学4年生・大学院2年生ともに、また、文系・理系ともに「3ヶ月間程度⁵³」の割合が最も高いという点は共通しているが、理系の学生のほうが、「2ヶ月間程度以内」の割合が高くなっている（図表5-9-1、図表5-9-2）。

図表 5-9-1 大学4年生の文系・理系別、就職活動の始まりから終わりまでの期間
(公務員・教職員志望者除く)



図表 5-9-2 大学院2年生の文系・理系別、就職活動の始まりから終わりまでの期間
(公務員・教職員志望者除く)



⁵² 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。なお、昨年度調査についても、同様の基準で再集計を行った上で比較した。

⁵³ ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

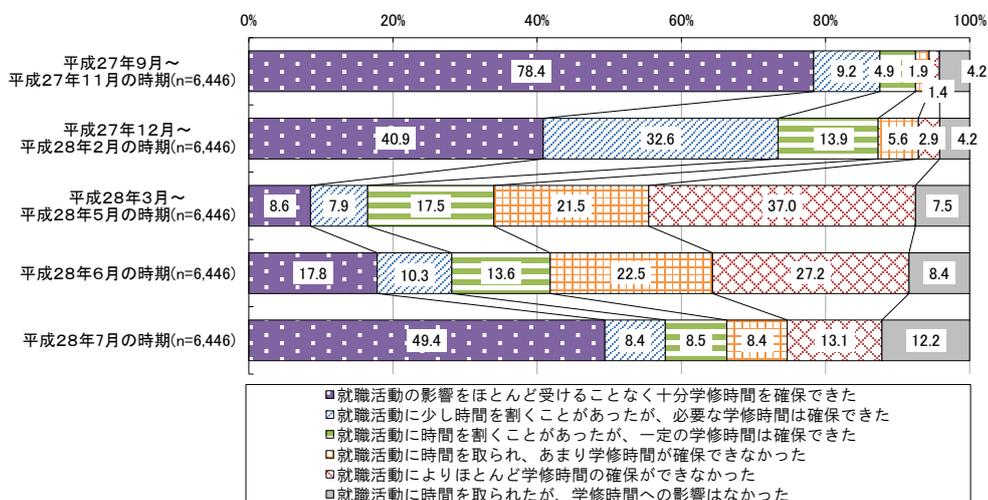
⑩文系・理系別、就職活動と学修時間確保の状況

就職活動と学修時間確保の状況について、平成27年9月以降の状況を文系・理系別に集計した(図表5-10-1～図表5-10-4)。

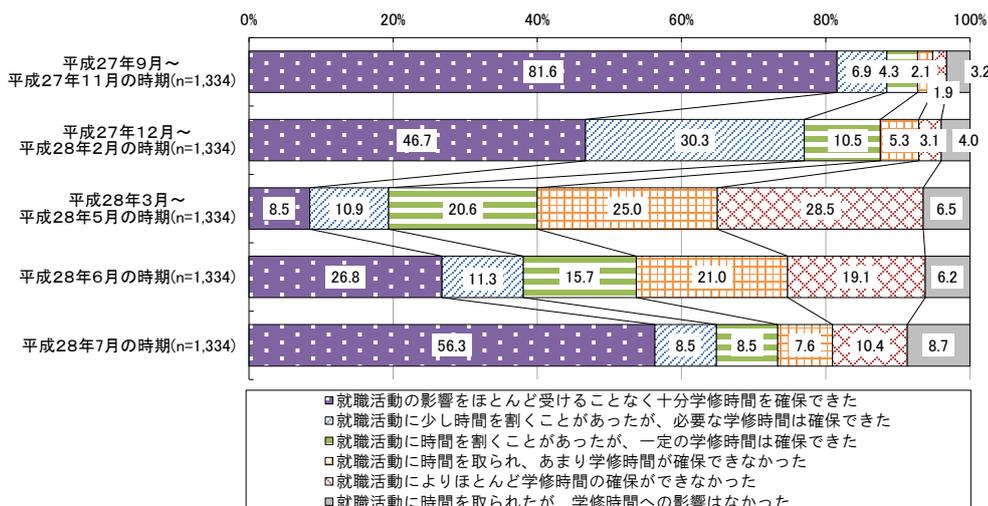
大学4年生に関し、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」との回答割合に着目すると、「平成28年3月～平成28年5月」の時期以外では文系の学生よりも理系の学生においてその割合が高くなっている。

大学院2年生でも、特に「平成28年6月」「平成28年7月」に関し、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」との回答割合は文系の学生よりも理系の学生において高くなっている。

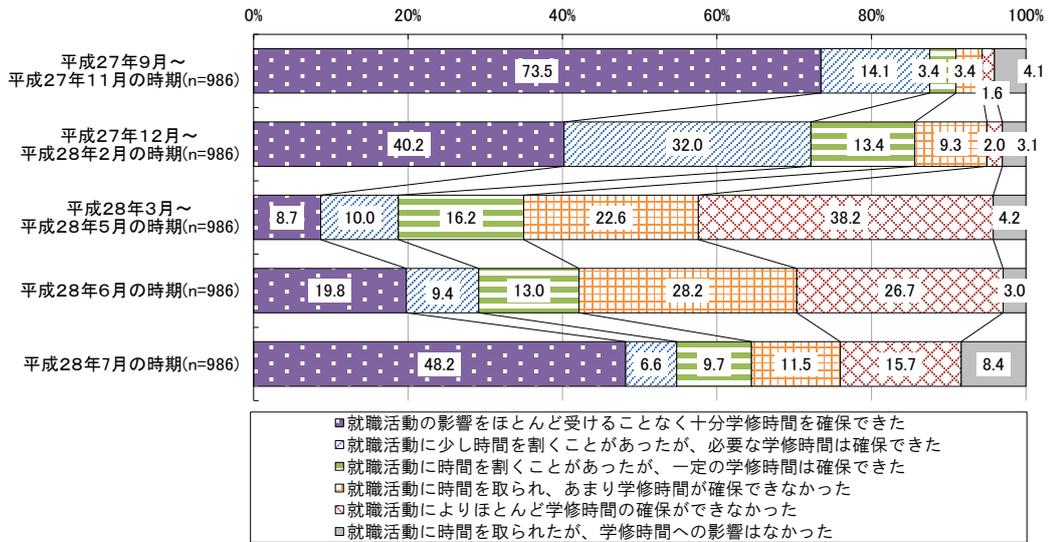
図表 5-10-1 大学4年生・文系、就職活動と学修時間確保の状況



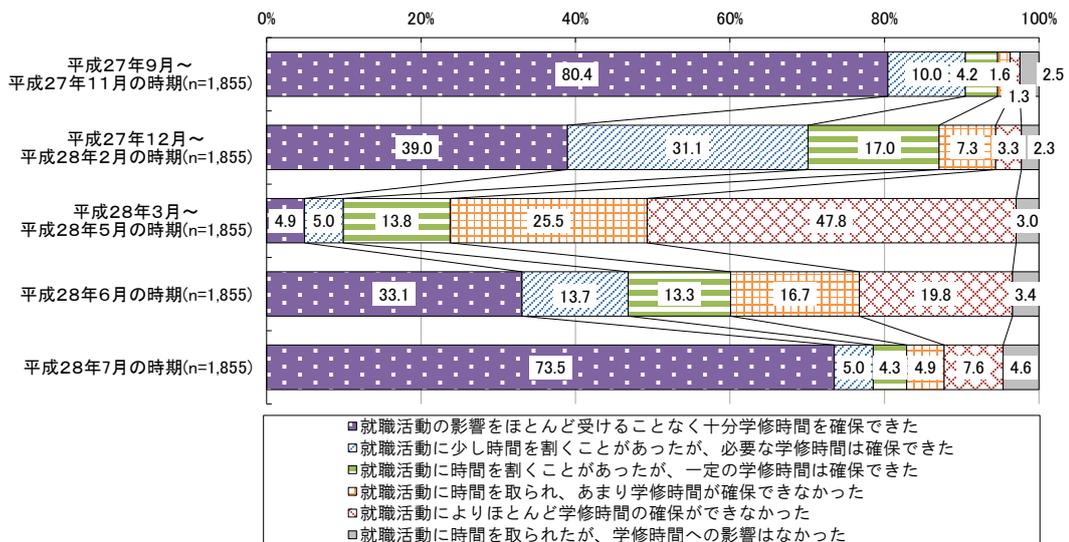
図表 5-10-2 大学4年生・理系、就職活動と学修時間確保の状況



図表 5-10-3 大学院 2 年生・文系、就職活動と学修時間確保の状況



図表 5-10-4 大学院 2 年生・理系、就職活動と学修時間確保の状況

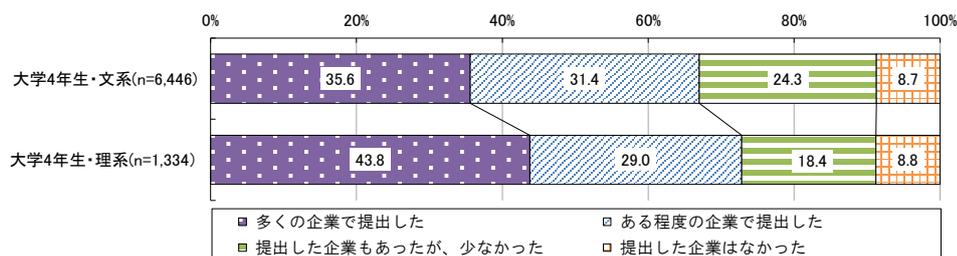


⑪文系・理系別、学業重視の選考

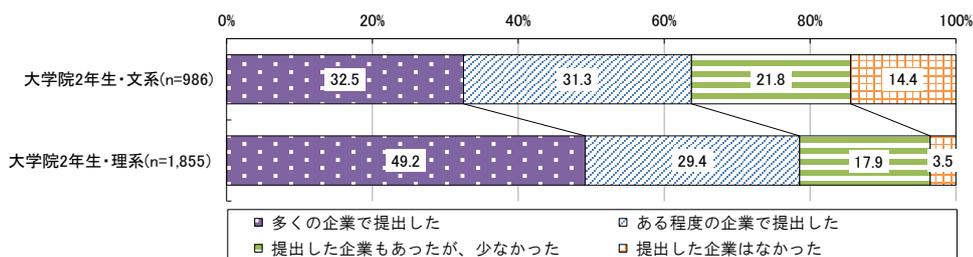
就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度あったかについて文系・理系別に集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「多くの企業で提出した」との回答割合は、理系の学生のほうが高くなっている（図表 5-11-1、図表 5-11-2）。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて文系・理系別に集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「評価に深く関係していると感じた」との回答割合は、理系の学生のほうが高くなっている（図表 5-11-3、図表 5-11-4）。

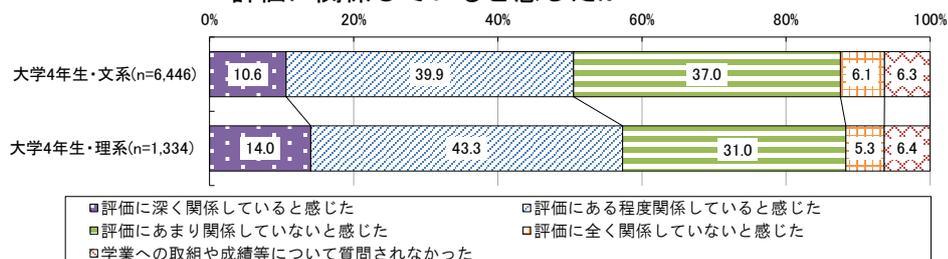
図表 5-11-1 大学4年生の文系・理系別、履修履歴（成績証明書など）の提出の状況



図表 5-11-2 大学院2年生の文系・理系別、履修履歴（成績証明書など）の提出の状況



図表 5-11-3 大学4年生の文系・理系別、採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか



図表 5-11-4 大学院2年生の文系・理系別、採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか

